

信州松本市・四賀



クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 12月24日 ■印刷／株式会社ブルート

頌
春

2016 新春号

Vol.24

四賀の横川から眺める北アルプスの山なみ



信州の奈良漬

そろそろ味のしっかりとしたものが食卓に並ぶ正月。信州の厳しい風土が生む味は、白うりと称される「松本本うり」や「縞うり」を酒粕で漬け込んだものです。お酒に弱い人だったら一口食べて酔いそうな酒粕の風味に包まれていて、各家々で微妙に異なる田舎の漬物です。ご飯のおかずやお茶うけに最適です。

年々季節の移り変わりを予測することが困難になってきました。昨年も各地を襲ったゲリラ的集中豪雨には辟易です。当地でも春には干ばつ気味で、夏の後半からは雨がしきりに降って収穫時期の稲刈りには困惑した農家が続出でした。

ガルテナーの皆さんも春から秋まで野菜の生育に一喜一憂したことでしょう。収穫祭の出品には間に合わなかった方が大半でしたが、葉物野菜などは11月中ごろまで温かな気候に恵まれていたことで順調に育ったようです。立派なものが収穫できたと喜びの声を聞きました。

今年は、「例年」の言葉を借りて、ごく自然な一年でありますように祈りたいですね。

紅葉遠足会

● 10月16日(金)

「善光寺街道歩き旅」は今年で5回目を迎える、篠ノ井追分宿から総仕上げとなる善光寺までの約3里(12km)を歩きました。

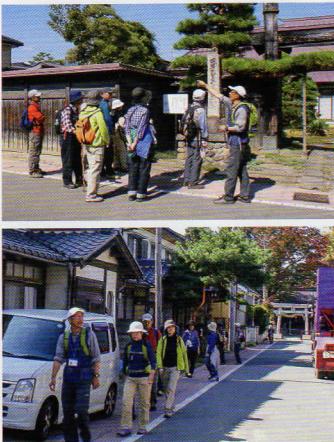
参加者10名で幣川神社に安全祈願をして出発。丹波島宿の街並みは見どころ満載、宿場に入ると徳本名号碑がある。皆さんよく知るところの薬湯、トクホンをつくつた人。湿布薬が評判になつた…!

於佐加神社から右手に直線道路、東西六町、道幅四間、見る価値がありました。400年も前に造られたとは感心するばかりです。脇道からの突き当たりの家には邪氣を払う屋根の上に魔除けの飾り瓦が鎮座している。

犀川の橋のたもとに来ると景色が広がり、水の流れが速く欄干の大きな屋根がちらちらと見え隠れる道で歩を進めて門前に到着。小休止を入れて目指す本堂へ、参道に入り右手に絵解きの寺、かるかや山西光寺。さらに進んで善光寺山門をくぐり天台宗の大勧進と、浄土宗の大本願へ。本堂到着。

今回は丹波島宿、善光寺宿を歩き、秋晴れに恵まれて楽しい一日を過ごすことが出来ました。

(坊主山205号 内田清さん)



坊主山クラインガルテン周辺 にぎわいを見せた 収穫祭

● 10月25日(日)

恒例の四賀クラインガルテン収穫祭は、姉妹都市の三重県鳥羽市

相差町の協賛を得て一



段とにぎやかに開催されました。アルプホルンのオープニングに始まり、会田中学校シニア吹奏楽の演奏や格調高い「シネマズ合奏団」の管弦楽、

恒例の「MAB」のバンド演奏などの無料配布や日本そば、ラーメンの食事コーナーも設けられ、締めくくりは松茸の当たるビンゴゲームと一日楽しいひと時を満喫することができました。

2班の皆さんお疲れ様でした。



歳時記



どんど焼き(三九郎)

今年一年の無病息災と五穀豊穫を祈願して各所でどんど焼き(三九郎)が行われます。前もっての「ものづくり」で古式に則った繭玉など米粉を材料とした餅を作り焼く、正月最大の行事です。

四賀ガルテナーの楽しみ
ガルテンで何してん!?

種まきから自家製「野沢菜漬け」初挑戦 —都市にはない暮らし満喫—

坊主山クライングアルテン 2552号

井上 清さん・陽子さん



「2人で出かけて行かれる場所（クライングアルテン）があつて本当によかつた」。そう言つて笑顔を交わすのは井上清さん（64）、陽子さん（64）夫妻です。

3人の子どもも独立し、川崎市宮前区の自宅では2人暮らし。2011年4月からガルテナーとなり、念願の畑づくりを始めました。当時、清さんはまだ現役。退職までの2年間は毎週金曜日の夜に川崎市の自宅を出て、日曜日に戻るとい

う日々でしたが、タンポポが群生していた庭の土を入れ替えて芝生を植え、畑の土を作り、中野市や安曇野市

の花のイベントに出かけては、陽子さんの好きなバラの苗木やアヤメの株などを手に入れ育ててきました。

あれから今春で丸5年。清さんは、野菜日誌とお花日誌をつけ、経験を重ねてきました。今、芝生は見事に密生し、畑では夫妻が好きな野菜が季節ごとにおいしく育っています。春には何倍にも増えたというアヤメが咲き競い、夏には収穫時に切り口から水がしたたるというみずみずしいアスパラガスの甘さを味わいます。

今秋は、松本市主催の松本城ウォーキングアルプス展望16kmコースに初参加し、「ドウダンツツジの紅葉は見たことのないほどに赤く、感動しました」と声を揃えま



す。冬を控えた師走には「野沢菜漬け」に初挑戦。「郷土食を自分で作りたい」との陽子さんの思いに応え、清さんが9月に種をまいて育てた野沢菜から、30キロを漬け込みました。「新鮮な野菜を味わつたり、郷土食を自分で作つたりできるのは、今の時代、贅沢なことですね」と陽子さんの笑顔がこぼれます。

一方、「ガルテンを拠点にイベントも楽しみたい」と情報を集め、「ここで過ごすもう1つの魅力」を発見したという清さん。都市部ではチケットが手に入りにくい森山良子さんや南こうせつさんなど、好きな歌手のコンサートがあれば、クライングアルテンを拠点に必ず出かけていくとか。

ガルテンでの暮らしを余すことなく存分に楽しむお2人なのです。



行って
みよう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

松本あめ市

開催日 1月9日、10日

ところ 松本市中心市街地

お問い合わせ 松本あめ市実行委員会 ☎0263-36-1121

新春の伝統行事「あめ市」は、戦国時代に上杉謙信が敵の武田信玄に塩を送ったことから生まれた故事「敵に塩を送る」に由来する。時代行列や地域の子どもたちによる福だるま売り、全国あめ博覧会、塩取り合戦(綱引き)などが行われる。

企画展「木の実と冬芽展」

開催日 1月17日まで(月曜休館・祝日の場合は翌日)

ところ 松本市 山と自然博物館

お問い合わせ 同博物館 ☎0263-38-0012

アルプス公園内にある博物館。公園内でも見られる秋から冬の木の実や冬芽を紹介。北アルプスを望む公園を散策しながら、自然観察も楽しんでみては。館内5階には360度のパノラマを望む展望室もある。入館料は大人300円。展望室は無料。

企画展「没後30年 丸山太郎がのこしたもの」

開催日 1月24日まで(月曜休館・祝日の場合は翌日)

ところ 松本市 松本民芸館

お問い合わせ 同民芸館 ☎0263-33-1569

松本に生まれ、民芸品の収集家、研究家と知られる丸山太郎。自ら創設した松本民芸館には、太郎が国内外を訪ねて集めた素朴な民芸品を展示しているほか、民芸作家として残した版画や卵殻・螺鈿細工などを展示。入館料は大人300円。

企画展「上條信山×池上百竹亭×田村一男 トリプルアタック! —コレクションとの新たな出会いー」

開催日 2月13日～4月3日(月曜休館・祝日の場合は翌日)

ところ 松本市 松本市美術館

お問い合わせ 同美術館 ☎0263-39-7400

松本市ゆかりの書家・上條信山、山や高原をこよなく愛し描き続けた洋画家・田村一男、そして呉服商・池上百竹亭作が多くの文人と交流を深め蒐集した池上百竹亭コレクション。同美術館の所蔵品の中から、選りすぐりの作品を展示。入館料は大人410円、大学・高校生200円、70歳以上の市民と中学生以下無料。



上條信山



田村一男



池上百竹亭

光の森のページェント ~HEAVEN and EARTH~

開催日 1月11日まで(元旦、月曜休園) PM4:00～9:00

ところ 国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区(安曇野市)

お問い合わせ 同公園 ☎0263-71-5511(堀金・穂高地区) ☎0261-21-1212(大町・松川地区)

同公園の冬の風物詩となったイルミネーション。今シーズンは、大町・松川地区は「天」、堀金・穂高地区は「地」をテーマに、両地区合わせて70万球のLEDの光が彩る。入園料は大人410円、子供80円、65歳以上210円。

第30回国宝松本城氷彫フェスティバル

開催日 1月23日AM10:00～24日PM4:00

ところ 松本城公園

お問い合わせ 松本市観光温泉課 ☎0263-34-3000

国宝松本城を背景に開催される氷の祭典。全国から選手が集まり、凍てつく寒さの中、夜を徹して氷の彫刻を制作し腕を競う「全国氷彫コンクール」のほか、氷のジャンボ滑り台、キャラクターショーなど、冬の松本を代表するイベント。今年も「信州・松本鍋まつり」を同時開催。

写真展「松本平の御柱展」

開催日 1月17日まで(月曜休館・祝日の場合は翌日)

ところ 松本市 重要文化財馬場家住宅

お問い合わせ 同住宅 ☎0263-85-5070

「御柱」といえば、諏訪大社の御柱祭が有名だが、松本市内田地区には正月の風習の「御柱」が残る。道祖神の傍らに5色の色紙を飾った柱を立て、五穀豊穣や家内安全を願う地区内29カ所の写真パネルを展示。観覧料300円、70歳以上の市民無料。

福寿草まつり

開催日 3月12日AM10:00～3月22日

ところ 松本市 四賀地区赤怒田

お問い合わせ 松本市四賀観光協会 ☎0263-64-4447

春の訪れを告げる代表的な花「福寿草」。四賀地区赤怒田にある約1.5haの群生地には約50万株が自生し、見頃になると鮮やかな黄金の花が一面を覆いつし、訪れる人の目を楽しませてくれる。撮影スポットとしても人気。

ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団 ～情熱のマエストロと松本のピアニスト達がつむぐ協奏曲集～

開催日 3月26日 PM2:00(開場 PM1:30)

ところ 松本市 音楽文化ホール

お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

世界的オーケストラと地元生まれのピアニスト・渡辺かおるさん、猿田泰寛さんとの共演。プログラムはベートーベン「ピアノ協奏曲第5番『皇帝』」、チャイコフスキイ「ピアノ協奏曲第1番」ほか。チケットは一般6000円、大学生以下3000円。